

# ごあいさつ

聖路加看護学園理事長 **福井 次矢**

2013年度における聖路加看護大学の教育研究活動の記録を関係各位の皆様にお届けいたします。

今年度も大学のスタッフ、理事・評議員の皆様のご協力により、例年のように活発な教育研究活動が遂行されました。心から感謝申し上げます。

本学は1920年の創立以来、キリスト教精神を基盤とし、看護保健職域に従事する看護専門職とその指導者の育成に取り組んできました。

50年前の1964年には私学で日本初の看護学部4年制教育を開始し、最近でも科学研究費採択率1位、日本の看護領域において初のWHO(世界保健機構)コラボレーティングセンター認定などの実績により、我が国の看護教育のパイオニアとしての評価も受けてきました。

一方、超高齢社会の到来、医療技術の高度化、グローバル化の急激な進展等に対応して、看護・医療においてもより高度な教育と実践、そして最先端の研究が融合した学府が求められています。また、安定した大学運営も重要な課題となっています。

これらの問いに答えるべく、2012年8月に開始した一般財団法人聖路加国際メディカルセンターとの法人一体化計画について、2013年度はさらに文部科学省との話し合いを継続した結果、法人および大学名称を聖路加国際大学に変更するとともに、聖路加国際メディカルセンターの医療関連事業を聖路加国際大学に譲渡することとなりました。2014年度からのこの新体制の発足に向け、本学および聖路加国際メディカルセンター双方の総力を挙げて、17のワーキンググループと法人一体化推進会議により準備を整えることができました。関係各位の努力に感謝いたします。

この新体制構想の実現により、更なる教育・研究・実践の発展と、大学運営の財務基盤の確立が期待されます。特に、学生実習の強化をはじめ、国際教育の強化や、公衆衛生大学院の設立など、2014年度以降も本学が発展を継続するための取り組みが前進することになります。

2020年の大学創立100周年および2022年の病院創立120周年に向け、聖路加国際大学の将来像をより具体化、確定できるよう努力したいと思っています。引き続き、関係各位の皆様のご協力をお願い申し上げます。